



社会医療法人 葦の会 オリブ山病院

ご自由にお取りください

オリブ山たより

ORIBUYAMA TAYORI

冬号

2024.12 No.85
社会医療法人 葦の会 広報誌

「いと高き所に、栄光が、神にあるように。

地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように。」

(ルカの福音書2章14節)



オリブ山病院HP



院長
玉城 尚

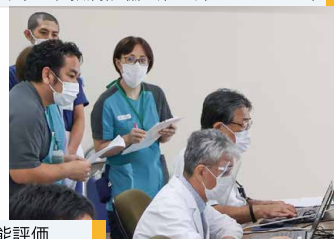
2024年の総括と、新年にむけて

2024年は、5年に一度の病院機能評価受審や、第27回アジアキリスト教病院協会総会(ACHA)の開催、5類になったとはいえまだまだ油断できない新型コロナやその他インフルエンザ等の感染症の拡大への対応、やわらぎ病棟の休眠、病院の空床対策等、当院にとって重要な案件が数多くありましたが、職員の皆様のご理解とご協力のもと、滞りなく医療を提供し続け、さらには2024年度の後半に入ってから空床も少なくなってきたことを御礼申し上げます。病院機能評価において指摘された様々な点を改善し、優れていると評価された点をさらに充実していきたいように、より一層取り組んでいきたいと思っております。

近年、病院や施設における虐待やハラスメント等の問題が大きく取り上げられ、職員としての姿勢が問われる時代になってきています。当院はこれまで「縛らない病院」として、人権に配慮した医療を行ってまいりましたが、キリスト教精神に基づく病院として、さらに社会医療法人として、より一層高い倫理性が要求されます。診療報酬改定等により、年々厳しくなってくる医療界においては、医療・看護技術の向上はもちろん、人権に最大限配慮し、地域の方々に信頼され、安心して選ばれる病院にならなければなりません。さらにハラスメントのない、自由に意見の言える風通しの良い、すべての職員が働きがいを持って仕事のできる病院にしていきたいと考えています。



第27回アジアキリスト教病院協会総会(ACHA2024)



病院機能評価



座間味診療



出前講座



社会医療法人葦の会 理事長
田頭 真一

2024年の総括と、新年にむけて

2024年クリスマス、救い主イエス・キリストの御降誕をお祝いいたします。そして2025年の新しい年に希望を覚えます。クリスマスも新年も、暗闇の中であっても光を受け、希望を覚えることが出来る時です。2024年、災害や騒乱が続き、経済と政治の危機に世界が直面し、暗闇が覆っているように思える時代です。しかし、そこにははっきりと救いと希望があることを聖書は語っています。どんな困難の中でも暗闇の中にも一条の光として差し込み、未来が約束されているからです。

クリスマスには街角のクリスマスツリーがイルミネーションで輝きます。それは救い主イエス・キリストの誕生が暗い世を照らす光だからです。聖書にあるクリスマスストーリーには次のようにあります。"この方にはいのちがあった。このいのちは人の光であった。光は闇の中に輝いている。闇はこれに打ち勝たなかった。" ヨハネの福音書 1章4～5節

未来の希望についても聖書は語っておられます。たとえそれが暗く見える歴史の只中においてもです。イスラエル民族は困難の中から将来救われると繰り返し語られ、そのとおりになってきました"わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている——主のことば——。それはわざわざではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。" エレミヤ書 29章11節

神様は今も変わらないお方、私たちが愛しておられるお方です。今年のクリスマスにも同じく光を輝かせ、新年の希望を語り、救いを語っています。私たち葦の会も地域医療、介護、福祉における神様の光を照り輝かし、からだの癒し、こころのケア、そしてたましいの救いをもたらす働きを続けていくものでありたいと願っています。皆様の上に、クリスマスの救いの光と新年の希望がありますように祈ります。

"すべての人を照らすそのまことの光が、世に来ようとしていた。この方はもともと世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。この方はご自分のところに來られたのに、ご自分の民はこの方を受け入れなかった。しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとなる特権をお与えになった。"

ヨハネの福音書 1章9～12節

令和6年度 那覇市精神保健福祉相談事業 ひきこもり市民向け講座

去る11月14日、那覇市保健所にて「令和6年度 那覇市精神保健福祉相談事業 ひきこもり市民向け講座」が開催され、講師を当院の院長である玉城尚が務めました。

■ 那覇市保健所地域保健課

那覇市でひきこもり講演会を開催するのは初めての試みです。

本市の広義のひきこもり群は、合計3,900人程度とされています。(令和5年3月末時点)

当課におけるひきこもりの相談件数について、令和5年の延べ件数は令和元年の8.7倍となっており、増加傾向にあります。

今回の講座を通して、生きづらさを感じているご本人や、ご家族、ご友人との関わりについて、理解する事につながる事を願っています。

■ 講座

「ひきこもりに向き合う現場から」

オリブ山病院 院長 玉城尚

社会が多様化する中で、地域生活の現場で起きる問題は複雑化・複合化しています。

最近沖縄でもありましたが、ひきこもりの事件が報道されています。医師(精神保健指定医)による適切な判断がなされていない中、未治療のまま症状が悪化する…そういった典型的な状況に陥ると、希望・期待が見いだせなくなり家族がつぶれてしまいます。「訪問する事で家族が安心できる。」私たちはここを大切にしています。そして本人が住み慣れた土地で幸せに暮らせることを目指しています。

疾患を持っているが、その症状のために受けられるべき治療が受けられていない場合でも、医療を受ける権利が



講座の様子



あります。真に役立つ医療を提供する為に、必要十分な行為を適切な時期に、本人の求める医療支援を行う事が大切で、「やりすぎない(依存を作らない)」、「不足しない」を心がけています。

その場限りの外来・入院・退院したら終わり!ではなく、外来・入院ではわからない情報も、ご自宅を訪問するといろんな背景がわかる事が多く、本人にとっての幸せは何か?を解きほぐしていきながら支援しています。

また、ひきこもりは1箇所だけで支援する事には限界があります。病院や公的機関等と連携していく事、自宅へ介入する事により状況が変化する事があります。家族だけで抱え込まない体制作りをする為にも、訪問診療を行う事で適切な診断を行う事ができます。

私たちは、「本人にとって幸せな生活が送れるように」という事を常に考えています。そして訪問診療する事で「ご家族が安心できるように、希望・期待をもてるように」そこを大切にしています。

私たちは、病院として継続して支援していけるよう、精神科在宅医療部を立ち上げました。初診の往診ができ、診療と精神科訪問看護が緊密に連携する事ができます。島しょ診療、精神科地域支援課があり、退院後に共生(共同生活援助ベタニア、シェアハウス シオン)、共働(就労継続支援B型Caféわきみず)できる資源を持っています。

私たちの精神科在宅医療は「病気を治す」事ではなく、患者や家族だけでなく医療者や支援者が「幸せ」を感じられる事を目的としています。

■ 来場者からの質問(抜粋してご紹介します)

精神疾患がありそうなのですが…

妄想や幻聴については、少しのお薬で改善される事が多いです。医師が訪問診療をする事で処方する事ができます。良くも悪くも「変わった事があった時」が関わるチャンスです。毎日みているご家族が見逃さず関わるタイミングが大切です。

■ オリブ山病院相談窓口

往診、訪問診療の流れ

- 1.電話による相談、来院日を決定 → 2.家族等から病歴聴取 → 3.患者本人の保険証確認 → 4.往診日の調整 → 5.初回往診 → 6.今後の相談



0570-099-784(代表) ①



オリブ山病院 島しょ診療科
石田 肇(精神科医)

2023年4月から月に1度、栗国村巡回診療を担当している石田肇です。

栗国診療所、末吉保健師らと会い、診察する患者さんの状況をお聞きします。今年4月から診療所には大田医師が着任しています。その後保健室で診察、もしくは訪問診療を行います。各家庭を訪問するのは生



栗国保健師室にて。左から大田医師、下地医師、石田医師、松原看護師、馬淵医師

活実態が分かってとても良いと思います。

また、栗国診療初の試みとしてオリブ山病院に入院中の患者さんの退院日を巡回診療日に合わせ、病院からフェリー、そして栗国島まで同行しました。一人はあくに特別養護老人ホームへ入所、もう一人はご自宅へお帰りになりました。病院から栗



この出会いに大変驚きました。のちほど宮医師に報告し、とても喜ばれていました

国村まで同行する事で、患者さんもお家族もとても安心されてい

ました。今回からあぐに特別養護老人ホームに入所されている方の精神状態が不安定になる場合があり、巡回診療時にホームを訪問して相談に乗ることも始めました。認知機能の低下とともに、イライラする、食思不良など

の困りごとを、栗国診療所およびホームの職員と共有しながらアドバイスを行っています。

そうした栗国診療を続けている中、栗国診療所で驚きの出会いがありました。今年の7月に「みや」という名前の医学生が診療所実習に来ていました。

当院の精神科医である「宮(みや)医師」が、沖縄県立宮古病院の産婦人科で働いていた時に取り上げた赤ちゃんがまさしく、今回の実習生であり、ご両親が、宮(みや)医師の「みや」を名前にしたというわけです。こんな偶然があるのかと思うくらい驚きの事実です。最後になりましたが、今後とも栗国村民のため、栗国診療所、あぐに特別養護老人ホーム、栗国村役場とオリブ山病院の連携を強めていく所存です。どうぞ、よろしくお願いいたします。



訪問診療中の1コマ。あまり警戒されず逃げようとしません





伝わる愛の言葉

伝道連携室 課長 チャプレン 具志堅 正都

今、私たちの周りには、多くの言葉があふれています。SNS社会に生きる近年では、良くも悪くも新しい言葉がどんどん生み出されています。ある一定の方々には、その言葉は意味があり、伝わる言葉です。しかし、ある世代にとって、その言葉は解読不能で理解のできない断絶された言葉です。たとえ一時、話題になっても、時代と共に古びたものとなり、いつのまにか使用されなくなります。どう評価するかは別として、言葉が心にとどまり、心に伝わる愛の言葉となっているのでしょうか。

本来のクリスマスは、ただ私たちがお祝いしたり、家族で過ごす時間やプレゼントを受け取ったりするだけの日ではなく(それも素晴らしいことですね)優しい心で、互いに愛の言葉を交わす日でもあります。それは、このクリスマスの日、私たちのことを思いやり、愛し、励ましてくださるお方、優しさにあふれたイエス・キリストのご降誕をお祝いする日でもあるからです。

言葉とは不思議なものです。たった一度の言葉や励ましが人生に大きな影響を与えます。

きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。 ルカ2章11節



Caféわきみず クリスマスケーキ

クリスマスの時期が来ました。caféわきみずにとっては最大の繁忙期です。毎年クリスマスケーキの予約販売を行い、また、雑貨販売(軽作業部門)もクリスマスにちなんだ商品を作成し、お客様にも大変好評を頂いています。今年もクリスマスケーキ販売、雑貨販売を9月頃から話し合い準備を進めてきました。クリスマスケーキはより多くのお客様に提供できるよう種類を限定し、個数を増やす事を優先しました。雑貨販売においてはラッピングや焼き菓子セットに使用する飾り付け等の作成をしてきました。Caféわきみずで過ごす時間が、みなさまの癒しとなる事を祈っています。年明け、2025年はcaféわきみずが地域の憩いの場となるよう職員・利用者共々頑張っていきたいです。



ご予約は 12/13 まで

- ホワイトホールケーキ ￥3,700
5号(4~6名分)
生クリームをたっぷりを使用したしっとり食感のケーキ
- ガナッシュケーキ ￥3,900
5号(4~6名分)
手作りのガナッシュクリームとチョコスポンジをガナッシュでコーティング

※オリブ山たよりをご提示いただくと、「好きなドリンク」を三角クーポン1枚につき1杯 プレゼントいたします。(サイズS or M)店内でのご利用に限ります。

〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-356-5 首里ビル2階 TEL: 098-886-2320
営業日: 平日11:00~14:30(ラストオーダー 14:15) / 定休日: 土・日・祝日



ACP講習会を終えて

去る10月2日に地域包括 ちゅいしーじ講習会inオリブ山病院「自分らしく生きるために」~ACPって何?~をテーマに、地域包括ちゅいしーじ作業部会の方を招いて講習会を開催しました。

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、将来の医療やケアについて、患者さんやその家族、医療・ケアチームなどが繰り返し話し合い、患者さんの意思決定を支援する取り組みです。日本では「人生会議」とも呼ばれています。

曙クリニック 玉井修 院長の話に始まり「命(ぬち)しるべ」について、グループワーク、もしバナカードゲームを体験していただきました。

講習会全体を通して参加者より、「相手に寄り添うこともACPであり、その人を知る・知りたい思いが大事」「何気ない会話からも思いを汲み取れるように心がけ、聞いたことは関係機関と情報共有する」など支援者として前向きな感想がありました。



那覇市地域包括支援センター石嶺 管理者 桃原 千佳

現場では本人抜きで家族との話し合いにて意思決定をしている場面が多々あり、講習会を通して、本人の思いに寄り添えているのが気づきや意識の変化に繋がったと思います。

また、「まずは自分のACPから実行しスタートさせたい」という感想もあり、まずは自身のACPに関する事を周りに伝え実践し、さらには支援者として何が出来るのかを考えるきっかけにもなったと思います。



講習会の様子



もしバナゲームの様子



介護老人保健施設オリブ園 支援相談課 堤 雄二

Instagram始めました!

新型コロナウイルスによる外出・面会制限に伴い、ご利用者の入所中の生活をご家族へ発信するツールとして、2021年より、X(旧Twitter)の運用を開始しました。開始から3年経ちますが、SNSの特性を活かすことで、ご家族からはたくさんの安堵の声や喜びの声を多くいただきました。

今後さらに当園の強みや特色、また園内の雰囲気や働く職員の頑張りなどを発信していきます。Instagramを、広報・PRのツールとして、当園の魅力をお届けできればと思います。



看護職員 募集!!

児童デイ・生活介護

業務内容 経管栄養 口腔ケア 喀痰吸引 清潔ケア 食事介助 送迎補助

勤務時間 7時～18時の間の「2～3時間」でも大丈夫です！
*週2回～5回

年齢/条件 60歳以上でも大丈夫です。
ブランクがあっても丁寧に教えます。

- 勤務地**
- 児童デイサービスホサナ
那覇市首里石嶺町2-13-1 (モノレール石嶺駅から徒歩1分)
 - オリブ山生活介護きらきら
那覇市首里石嶺町3-30-11 (ワークマン経塚店 向かい)



お問い合わせ 090-6869-5140 担当:奥原(オクハラ)

HPへのアクセス

● オリブ山病院 外来表

内科

※脳神経内科(もの忘れ内科)

受付時間	月	火	水	木	金
8:30～11:30	内科 呼吸器内科	内科	内科 脳神経内科(予約)	内科 脳神経内科(予約)	内科
13:30～16:00	内科 脳神経内科(予約)	内科	予約外来 ホスピス(予約)	内科	内科 呼吸器内科

精神科

受付時間	月	火	水	木	金
8:30～11:30 (初診11:00迄)	精神科 心療内科	精神科 心療内科	精神科 心療内科	精神科 心療内科	精神科 心療内科 児童思春期(予約)
13:30～16:00 (初診15:00迄)	精神科 心療内科	精神科 心療内科	予約外来	精神科 心療内科	精神科 心療内科 児童思春期(予約)

オリブ山病院へ
お問い合わせは



0570-099-784(代表)

音声ガイダンスに従って番号をお選びください。
*ご案内の途中でも番号入力することができます。
*該当の部署につながるまで電話料金は発生しません。
*診療時間などは掲載時と異なる場合があります。

● シャロンクリニック 外来表

お問い合わせ ▶ **098-884-1300** (平日8:30～16:00)

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30～11:30	内科 リハビリテーション科	内科 整形外科 リハビリテーション科	内科 整形外科 リハビリテーション科	内科 整形外科* (※第3木曜日休診) リハビリテーション科	内科 整形外科 リハビリテーション科	内科 リハビリテーション科 (要予約)
13:30～16:00	—	内科 整形外科 リハビリテーション科	内科 整形外科 リハビリテーション科	内科 緩和ケア内科 整形外科 リハビリテーション科	内科 整形外科 リハビリテーション科	—

傷ついた葦を折ることなく、ほのぐらい灯心を消すことなく、真実をもって道をしめす。(イザヤ書 42章3節)